学校評価（保護者）アンケート（全文掲載）

たくさんのご意見やご要望をいただき、ありがとうございました。
⇒　以下に、学校としての考えを記載いたしました。お読みいただければと存じます。

◇　感謝のお言葉について

・　いつもありがとうございます。コロナも増えてきて大変ですが、３学期もよろしくお願いします。
・　今年はとても大変な年になりました。学校生活、学習面、感染対策といろいろ考えることがありました。先生たちには本当にご苦労をおかけしております。大変感謝しております。
・　登下校中の子供達のトラブルについて相談したときに、すぐに対応していただき、家庭の思いもくんでくださり、とてもありがたかったです。来年度は次男も入学するので、よろしくお願いします。心強い先生がいるので安心です。

⇒ このようなお言葉をいただけると大変うれしいです。来年度も、保護者の皆様と連携しながらお子さんの健やかな成長を目指してまいります。

◇　学校からの連絡手段等について

・　学校からのお知らせをメールではなくてLineにしてほしいです。メールだと気づきにくいです。
・　学校からの連絡ですが、メールだとほとんど気づかず、見ていない時があります。ほかの母の声にも見ていないと分からないとの声あり。メールだと気づくのに時間がかかります。ラインだと日常で会話のやりとりなので、学校の連絡はラインでしてほしいです。めごたまの連絡はラインです。是非ラインで学年ごとでもいいのでライン。そして学校からの一方通行にしてほしいです。
・　ホームページやメール配信を頻繁に行っていただいており、学校生活がわかりやすく助かっております。今後も継続してほしいです。
・　学校からの配布物を自分から出してくれません。ホームページやメールだと確認しやすくていいかなぁと思います。

⇒ 現在、すべてのご家庭からメール登録をしていただいており、連絡が届かない事態は避けられています。よって、Line への早急な移行は考えておりません。こまめにメールを確認いただきますようお願いします。

また、今年度開設しましたホームページを今後も有効に活用してまいります。

◇　宿題の量について

・「宿題が多すぎる。内容の理解をしていないのに量がありすぎると教えるのも大変です。学力のある子供には大丈夫でしょうが、うちの子供には少し多すぎます。」と、先生にも連絡ノートでお伝えしました。一応書きました。

⇒ 学年にもよりますが、自学の取組をいっそう推進し、個人差に応じた家庭学習ができるよう努めてまいります。

◇　ゲームをする時刻について

・　オンラインゲームをする約束をして、ご飯の時間、お風呂の時間、寝る時間等に支障が出ている。

⇒ 現在取り組んでいる「我が家のネット・ゲームルール」が実効性のあるものにしていく必要があります。また、PTA 主催の研修会や学年懇談会等で話題にすることも視野に入れています。

◇　新型コロナ感染症対策関連について

・　今年はコロナの影響で、行事や祭り事が制限され、学校も休校になりました。「早く学校に行きたい」という思いが強くなったように思えます。マスク（手洗い、うがい）も家に帰ったらすぐにするようになりました。一人一人の行動、気をつけるということが大事なんだと子どもたちも思えるようになりました。大切なことだと思います。

・　学習発表会、同じ学年のすべてのグループの発表を見れなくて少し残念でした。個人的な意見ですが、たとえば、グループ発表をステージで実施し、リモートで教室で映し出す。ビデオカメラは固定（先生が持って歩いて説明もあってよかったのですが、教室で見ていると子供達の発表はあまり聞こえませんでした。）。コロナが落ち着いて歌の発表が出来るようになるといいですね。感染防止を考えながら、学習発表会の実施ありがとうございました。

・　コロナ禍のため、学校の行事も以前とは違った形態になっており、学校と保護者の間での対話の機会が減っていると感じております。この状況では、先生方の負担は多いかと思いますが、月に一度でもいいので先生方が感じているクラス内の問題点を共有する場を設けてくださると幸いです。

⇒ 現在、本校で取り組んでいる感染症対策は、警戒レベルに基づいて継続してまいります。また、コロナ禍によって生まれた制約や課題については、保護者の皆様と知恵を出し合いながら乗り越えていけるように努めてまいります。

◇　スクールバス等の要望について

・　登校班（地区）でスクールバスでの登校を再度見直しが必要な地区があれば、意見等を教育委員会とも交換してほしいです。距離だけでなく、人通りもない、民家もない、街灯もない、熊の出没や、暗い中一人で帰るなど、多種多様な理由も視野に入れてほしいです。町に保護者がお願いしても、やはりスクールバスが手配ならず不安の中で親も子供も帰宅する、させる日々が続くこともありました。もちろん学校の対応に不備はありません。先生方が親身に子供と一緒に同伴して帰ってきてくれたこともありました。ただそれでは、先生方に負担をかけて継続的な解決にはならなかったと感じましたので、スクールバス等の希望があれば、町からの力添えは大いに不可欠だと感じます。

⇒ 実際に本校職員が引率して、安全確保に努めた時期もありましたが、持続可能とは言えません。町教委に対して、引き続き要望を伝えてまいります。

◇　スキー準備の負担感について

・　お友達、先生方が大好きで救われています。ありがとうございます。３～４年になってから勉強に対する意欲もわいているようです。テストや成績に表れています。スキー授業、準備が多く負担が大きいような気がします。雪国ならではなのでしょうがスキー教室などではダメでしょうか

⇒　今年度から、本校でレンタルスキーシステムを導入したり、スキースポ少によるスキーお下がり会を開催したりするなど、負担軽減を進めているところです。

◇　子どもたちの挨拶について

・　状況が難しいのであまり言えないが、挨拶が少ないと感じる。昔みたいにはなかなか出来ないかもしれないが、もう少しあってもいいのではないかと思います。

⇒　大人であるわたしたち職員がお手本になろうと進んで挨拶を行っています。家庭・地域においても連動した取組になることを期待しています。また、子どもたちの気付きからあいさつ運動が広がっていくよう導いていきたいものです。

◇　安全な下校について

・　下校時、慣れないうちに一人で帰ったり、友達においていかれたりして、一人で下校する場面があるので、なるべく集団で下校できるように学校で対応してくれると安心です。

⇒　下校コースの実態把握を進めるとともに、下校時に一人にならないような言葉がけと見届けを行っていきます。

◇　子どもたち同士のトラブルへの対応について

・　いつも温かい指導ありがとうございます。私自身も担任の先生に励ましてもらっています。息子が、同じクラスの男の子にパンチされたり、粘土が壊されたりして我慢している面があります。その男の子について他の子が受けた被害の話もたくさん聞きます。今のうちにその男の子に対する対処をしていただけたらば幸いです。

・　子どもたちは先生の見ていないところでいろいろなトラブルはたくさんあると思います。学校内においても一人一人注意して見ていただけると助かります。大変かと思いますが、よろしくお願いします。

⇒　多くの子どもたちがかかわる学校生活では日々トラブルは起きています。その中で社会性を学んでいきますので、トラブルは成長のチャンスとも言えます。ただし、行き過ぎた言動には指導が必要で、本人はもちろんのこと、保護者の方にもお話をさせていただき、改善を目指しているところです。